

学年通信

『なかま』

四日市市立三滝中学校
第2学年 第14号
2021.10.18.

後期の学級役員・専門委員会・教科係が決まりました！

テスト後に行われた生徒会役員選挙において、3年生中心だった生徒会役員から、2年生中心の生徒会に引き継がれました。1年間という長期間、三滝中学校のために時間をかけてくれます。よろしくお願いしますね。選挙で選んでもらった責任をもって、取り組んでください。

またこの選挙の結果を受けて、各学級の役員や専門委員会などを決めました。3年生へとつなぐ、大事な2年生の残り半年間。いい準備をして進級できるように、みんなで協力をしていきましょう。

	2年1組	2年2組	2年3組	2年4組
室長	小倉 功大朗	伊藤 羽幾	宇治谷 優泉	登根 成海
室長	森 愛結	清水 咲羽	岡島 昊希	増田 隆栄
書記	平松 実々花	濱口 俐真	伊藤 成太郎	中山 凛音
書記	山本 凌太郎	矢部 環奈	坂倉 花菜	古川 蒼真
代議員	稲垣 日菜	伊藤 葵	川村 真理	岡島 蒼空
代議員	荻野 煌也	桂山 力綺	舘 海翔	三井 大誠

認知症サポーター養成講座を実施しました。

川島地区のセンターや民生委員さん方の協力をいただき、講座を実施しました。小学校の時にも話を聞いているとは思いますが、年齢が上がってから聞くことで理解の度合いや感じ方も変わってくるのではないのでしょうか。高齢者の方の割合が高いとはいえ、いつ誰に症状が出るかわからない認知症。その方を否定するのではなく、受け入れながら一緒に生活できることを考えるきっかけになるといいですね。配布した資料は、是非保護者の方もご一読願えたらと思います。



以下、一部ですが、生徒の感想です。

- もし家族が認知症になっても相手の気持ちを考えて対応することが大事だとわかりました。でも自分は、イライラしてしまうと思うので、相手の気持ちを考えることは大事だけど難しいと思った。
- 認知症の人への周りの対応によって、認知症の人は心が動くんだなと思った。周りの対応がとても大切なんだと分かった。
- 認知症の人だって、なりたくてなったわけじゃないし、心があるから気持ち・感情だってあるし、それを考えたうえで気持ちを考え、行動に移せる人になろうと思った。
- 認知症の人に対してどう接したら相手も不安にならずに済むかが分かったので、よかったです。周囲の人が優しく接してくれることが一番の支えだと気づきました。

余談ですが、2年生としては久しぶりの学校外の人の関わる行事となりました。昨年度の自然教室や今年の職場体験学習など、やむなく中止としてきましたが、こういった活動の一つひとつ取り組めるような日常になることを願います。



転入生を迎えました♪

月曜日から、2組に転入生を迎えました。普段は学年通信で紹介することまではしないですが、朝2組の教室へ行くと、こんな黒板がありました。新しい環境に飛び込むことは、とても緊張してドキドキするもの。期待をする気持ちと同時に、不安な気持ちもあったはず。そんな中、教室に行ったら笑顔で迎えてくれるとわかったとき、すごく安心したのではないのでしょうか。同時に、こうして迎ええられるみんなの気持ちに、私も嬉しく思いました。残りの中学校生活を、みんなと一緒に楽しんでくださいね。

